

# F Mアップルウェーブ 第125回放送番組審議会

開催日時	令和3年9月25日（土） 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク（弘前市土手町）
出席委員	委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、高村 智子、福島 由美、石田 有希子、窪野 夏希
会社側出席者	代表取締役社長：一戸 勝美、常務取締役：倉田 正直、新戸部 洋輔 放送部副部長：花田 由香子
議 題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 12月7日（火）
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 サタデーナイトウェーブ『土手町井戸端討論会』</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 「井戸端」というタイトルから、思ったことを気軽に意見として言い合っている番組。日頃あまり触れない話題について知ることができた。コロナが収まったらアンケートなどで年代別の意見を募ったり、参加型にしたりするなど、いろいろ考えられる。「ゆとり失敗」という言い方はキツイ。不快感を与えない表現の仕方を考えるべき。</li><li>② 一緒におしゃべりしている感覚で聴けた。自分が感じたことが話に出てきたときは代弁してもらえたような気持ちになった。移住者なので高校の実情を知らなかったため、将来の参考にいろいろ調べるきっかけになった。</li><li>③ 高校野球出場校を具体的数字で示し、どれだけ減少したかを紹介した場面はとてもわかりやすく、高校の数がどんどん減っていることを実感した。家庭の事情によって状況が異なる問題についての場面では出演者の意見が偏ってしまっていたのでは。元教諭の意見があったことは視点も違っていて、勉強になった。</li><li>④ 討論会というスタイルに加え、情報発信・紹介の役割が一人いることで新たな情報を得られたり、自分と同じような意見が聞けたりするので面白い。SNS上での一方的な意見発信が主流になってきている中、意見が交わされているのが良い。身近な話題に関して問題提起の役割も持ってほしい。</li><li>⑤ 「井戸端」と「討論会」の二つの言葉のイメージが違いすぎて違和感を覚える。難しい問題を扱っているが、もっと有識者や専門家を交えて話を進めた方がいいのでは。そうすると「井戸端」がやはり合わなくなってくるので、タイトルを再考するか、身近な話題を取り上げる回と、問題を掘り下げる回とで分けた方がいい。</li><li>⑥ メインテーマに対して三社三様意見を出し合う中、話が反れそうになった時にナビゲーター役が軌道修正していたので、番組構成としてはよくできていたのでは。最近話題になっている問題ではあるが、政治が関わる問題であり、扱うテーマとしては重過ぎるのでは。</li><li>⑦ 番組スタイルと内容から、タイトルのネーミングはぴったりだと思った。今までのアップルウェーブにはなかったスタイルの番組。高校再編の問題を扱うにあたって、元高校教諭の大西晶子さんがメンバーにいたのは大きかった。外から見た意見と、実情を知る人や内部の人間とでは全く見方が違う。単なる「井戸端会議」ではなく良かったが、もう少し一歩踏み込んだ場面があっても良かった。</li></ol> <p><b>【審議機関の答申または改善意見の公表】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布</li><li>2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</li></ol>